

U.S. Indicators

発表日:2024年5月2日(木)

米国 製造業の回復は一步後退(24年4月ISM製造業)

～製造業は再び縮小圏に落ち込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年4月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、49.2(前月50.3)と前月比1.1%低下し、市場予想中央値50.0(筆者予想50.8)を下回った。生産や新規受注の低下を主因に、拡大縮小の分岐点である50を下回り、米製造業部門が再び縮小したことを示した。ただし、50を小幅下回った程度であるほか、拡大した業種数が18業種中9業種(前月9業種)と12月(1業種)を底とした広がりを持った回復を維持しており、限定的な調整にとどまっていると判断される。

4月の構成項目別の前月からの変化では、雇用が上昇した一方、新規受注、生産、入荷遅延が低下したほか、在庫は変わらずとなった。また、構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.24%ptの押し上げ寄与となった一方、生産が前月比▲0.66%pt、新規受注が前月比▲0.46%pt、入荷遅延が前月比▲0.20%ptの押し下げ寄与となった。在庫は前月比0.00%pt。

4月の構成項目の水準では、生産が50を上回った一方、新規受注、雇用、在庫、入荷遅延が50を下回った。生産は、50を維持したものの、生産の拡大した業種が18業種中8業種(前月13業種)に減少しており、限られた業種による脆弱な拡大と判断される。新規受注は、海外需要の鈍化の影響等もあり、拡大した業種が18業種中8業種(前月12業種)と減少、50を下回った。雇用は、7ヵ月連続で50を下回ったほか、雇用の拡大した業種が4業種(前月7業種)にとどまり、製造業の雇用減少が唆された。入荷遅延は需要鈍化の影響とみられ48.9とさらに低下した。在庫は、景気の先行きに対する慎重な見方や出荷の増加を背景に50を下回っている。

サブ項目では、輸出受注DIが48.7(前月51.6)と輸出が減少に転じたことを示した。一方、輸入DIは51.9(前月53.0)と輸入の伸び鈍化を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、60.9(前月55.8)と上昇、コスト増加を示したうえ、インフレ再燃のリスクを高めた。商品別では、アルミニウム、天然ガス等が下落した一方、スチール、ポリプロピレン、海上貨物、プラスチック樹脂等が上昇した。供給不足品では、引き続き電気部品などが挙げられた。

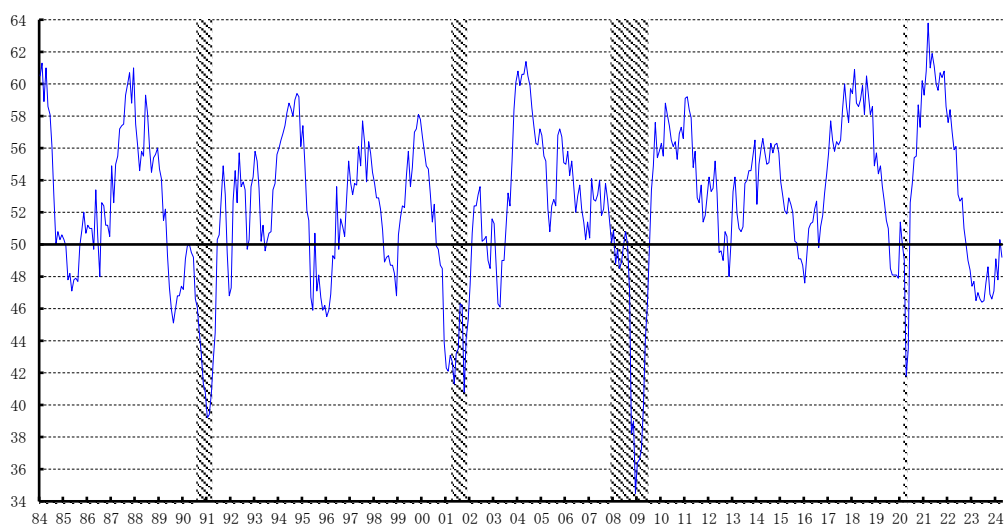
ISM製造業景気指数

	総合									
	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入	
23/04	47.0	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.6	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.4	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0
24/03	50.3	51.4	54.6	47.4	48.2	49.9	46.3	55.8	51.6	53.0
24/04	49.2	49.1	51.3	48.6	48.2	48.9	45.4	60.9	48.7	51.9

4月に拡大した業種は、全18業種のうち非鉄、印刷・関連サポート活動、一次金属、繊維、電気設備・部品、石油・石炭、輸送機器、化学製品、プラスチック・ゴム製品の9業種と3月の9業種から変わらなかった（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は、輸送機器、化学製品の2業種と前月の4業種から減少した。一方、縮小した業種は、その他製造業、一般機械、家具・同関連、木材製品、食品・飲料・タバコ、加工金属、紙製品の7業種と前月の6業種から増加した。なお、コンピューター・電子機器、アパレル・皮革製品は前月比横ばいとなった。

先行きに関して、製造業部門の活動は在庫調整の進展、国内需要の増加を背景に拡大するものの、金融環境の引き締めによる世界的な需要鈍化等の影響によって、緩やかな拡大ペースになると予想される。

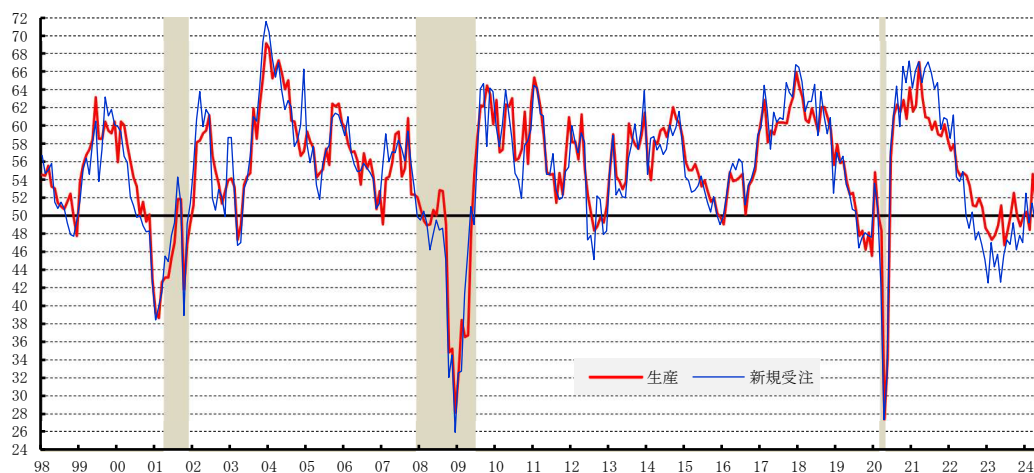
I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャド一部は景気後退期。

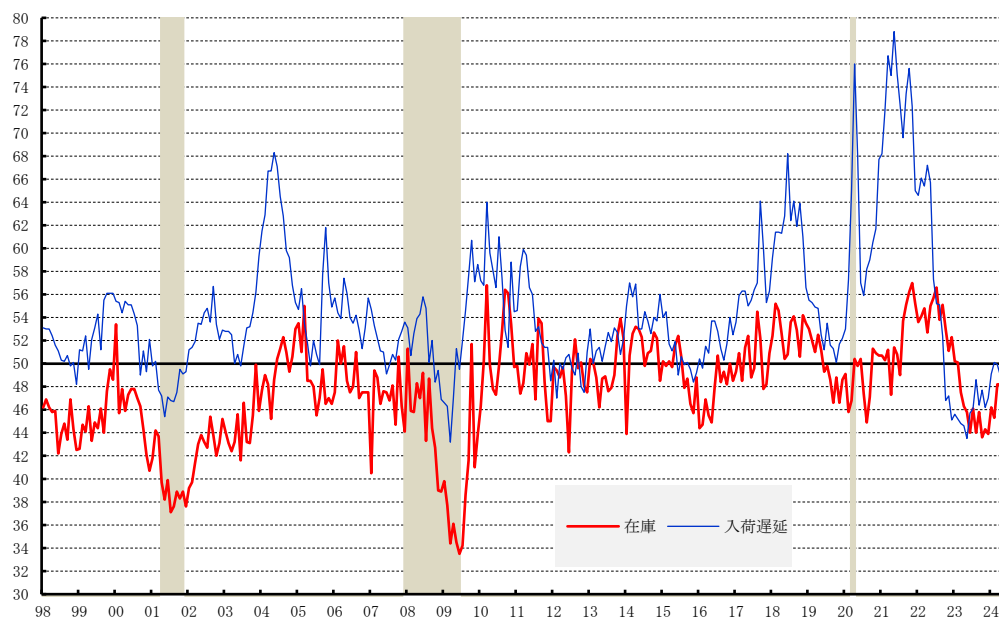
I S M景気指数の推移



(出所) I S M

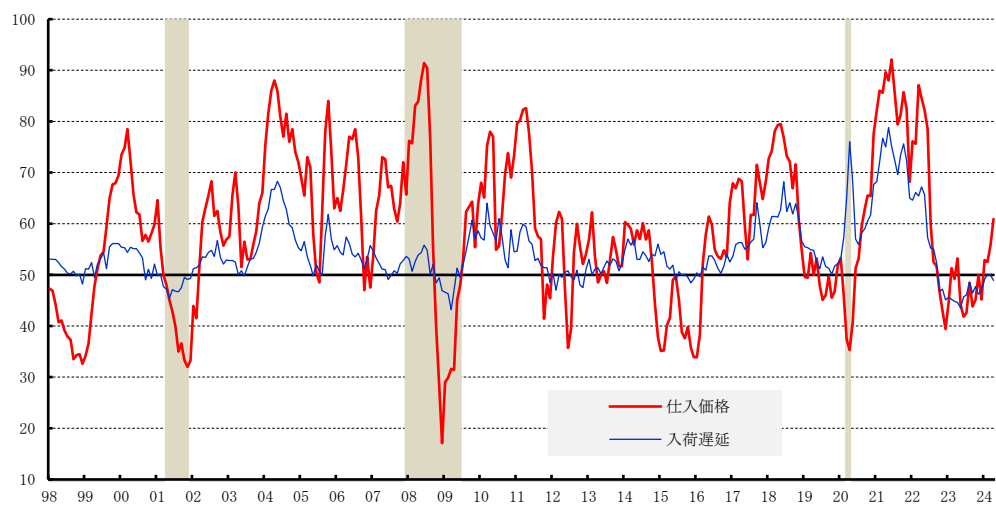
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

